

農・野菜

あびこ型「地産地消」推進協議会

1 日本に自生していた野菜と新しく入ってきた野菜

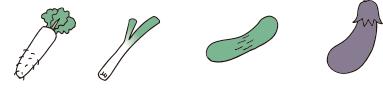
●日本の古来からの野菜

昔から日本に自生していた野菜の多くはなく、今では山菜と言われる品種がほとんどです。在来野菜は20種類だと言われています。ウド、オカヒジキ、山椒(サンショウ)、自然薯(ジネンジヨウ)、じゅん葉(セリ)、蓼(タデ)、つる葉(浜防風(ハマボウフ)、菱(ヒシ)、蕗(フキ)、松葉(マツバ)、三つ葉(茗荷(ミョウガ)、白薙(ハクラン)、ユリ、山葵(ワサビ)、牛蒡(ゴボウアザミ)、枸杞(クコ)など



●外来種(主な野菜)

縦文から平安時代…だいこん、さといも、ねぎ、きゅうり、なす等



江戸時代…ばれいしょ、キャベツ、ほうれんそう、トマト等



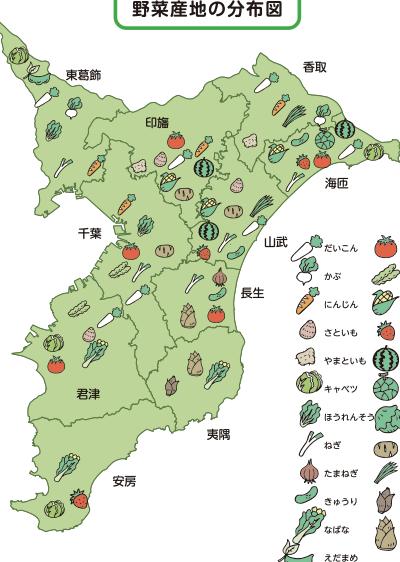
明治時代以降…にんじん(西洋種)、はくさい、レタス(結球種)、たまねぎ、ピーマン等



伝統野菜について HP

2 千葉県内で栽培されている野菜の種類と産地の分布

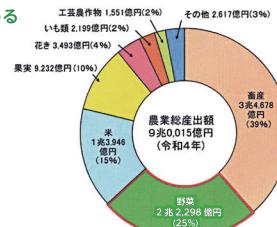
野菜産地の分布図



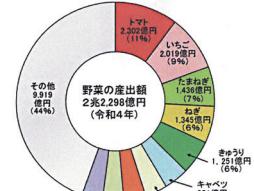
千葉園芸と農業 千葉県 HP

3 我が国における野菜の位置づけ

農業総産出額に占める野菜の割合



野菜産出額に占める品目別の割合



食糧自給率への寄与率 (令和4年)

- ・生産額ベース
(国内生産額に占める割合) 23%
- ・カロリーベース
(国産熱量に占める割合) 6%

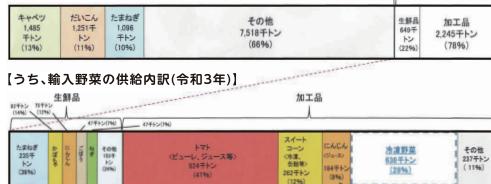
※野菜をめぐる情報 令和6年5月 農林水産省

4 我が国における野菜の国内供給と野菜の輸入量の現状

【野菜の国内供給状況(令和3年)】

国内生産量 11,350千トン (80%)

輸入量 2,884千トン (20%)



【うち、輸入野菜の供給内訳(令和3年)】

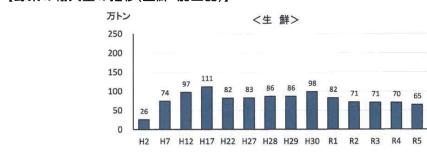
生鮮品

加工品

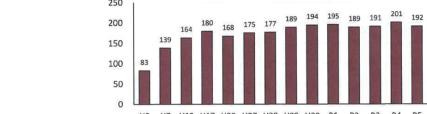
※資料: 森林水産省「食料需給表」

【野菜の輸入量の推移(生鮮・加工品)】

<生鮮>



<加工品>



※資料: 森林水産省「食料需給表」

あびこ型「地産地消」推進協議会

会長 斎藤 徳剛
電話 04-7128-7770
住所 我孫子市
高野山新田193
水の館2階

力を合わせて我孫子の「地産地消」を推進しよう。環境保全型農業をめざして。協議会は農家が結束して栽培経歴(トレーサビリティ)を作成し、安全・安心で、新鮮な農産物を提供する活動を支援しています。「農と食」を通して市民や子どもたちの「食育」を推進する活動を支援しています。

Mail abikochisanchisyoko@sky.plala.or.jp Web http://abiko-Chisan.com/